

2025/2026 シーズン

スリー・キングダムス Three Kingdoms

中劇場ビュッフェでスペシャル企画開催！

中劇場内ビュッフェをご利用の方にオリジナルコースターをプレゼント！
舞台となる三か国イギリス、ドイツ、エストニアにちなんだスペシャルメニューも登場！



『夜中に犬に起こった奇妙な事件』『FORTUNE』などで知られるイギリス演劇界の奇才 **サイモン・スティーヴン** が描く、現代社会の闇を深くえぐる衝撃作『スリー・キングダムス Three Kingdoms』が、2025 年 12 月 2 日より、新国立劇場 中劇場にて**日本初演**を迎えます。

ロンドンのテムズ川で発見された女性の変死体。この殺人事件を追うイギリス人刑事、イグネイシアスは、捜査を進めるうちに、ヨーロッパ全土に広がる国際的な犯罪組織の存在にたどり着きます。ドイツ、そしてエストニアへと舞台を移し、事件の真相に迫る一方で、自身の過去の行いを突き付けられ、事態は思わぬ展開を見せていく…

この作品は、イギリス、ドイツ、エストニアの3カ国のクリエイターによる国際共同制作プロジェクトとして誕生。デヴィッド・リンチ監督の映画『インランド・エンパイア』から影響を受けたという本作は、単なるミステリーの枠を超え、グローバリズムと資本主義がもたらす影、そして善と悪の曖昧さを問う、戦慄のサスペンスです。

この度、よりご観劇を楽しんでいただくため、**中劇場内のビュッフェでスペシャル企画を実施**します！
中劇場内のビュッフェでご購入いただいた方全員に、『スリー・キングダムス』オリジナルコースターを**プレゼント**するほか、さらに、作品世界にどっぷり浸っていただくため、**舞台となる三か国イギリス、ドイツ、エストニアにちなんだドリンクとフードを販売**します。

ぜひ本情報のお取り上げのご検討の程、何卒よろしくお願いいたします。

< 本件に関するお問い合わせ >

制作部演劇 広報担当: 杉田 TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737

中劇場内ビュッフェをご利用の方にオリジナルコースターをプレゼント！

公演期間中、中劇場のビュッフェでドリンクやフードをご購入いただいた方全員に、公演オリジナルコースターをプレゼントいたします！

コースターは全2種類。主人公イグネイシアス、「観客と舞台をつなぐミステリアスな存在」というそれぞれ伊礼彼方さんと音月桂さんが演じる登場人物をイメージしたイラストをあしらっています。

ご観劇の記念にぜひゲットしてください！

ご注意点

- ・ビュッフェのどのメニューをご購入いただいてもプレゼント対象となります。（※水のペットボトルは除外）
- ・1品につき、ランダムで1枚プレゼントいたします。



主人公のイグネイシアス



観客と舞台をつなぐ存在

舞台となる三か国にちなんだスペシャルメニューも登場！

通常のメニューのほかに、舞台となるイギリス、ドイツ、エストニアにちなんだ本公演スペシャルメニューも登場！フードからもぜひ作品世界をお楽しみください。

【イギリス】ギネスビール



物語のスタート地、イギリスにちなみ、イギリスのビール「ギネス」を販売。世界的に有名な黒ビールをぜひお楽しみください。

販売価格：¥1,000（税込）

【ドイツ】ケストリッツァー シュヴァルツビア



手がかりをつかみ、捜査の舞台はドイツへ。そのドイツにちなみ、旧東ドイツの歴史ある醸造所で醸造された黒ビール「ケストリッツァー シュヴァルツビア」を販売。文豪ゲーテが愛飲したと言われ、ビターチョコを思わせる味わいです。

販売価格: ¥1,000(税込)

【エストニア】自家製ソーセージとミートソースのライ麦パンサンド



捜査の果てにたどり着く、エストニア。エストニアはライ麦パンが有名であることにちなみ、ライ麦パンで作ったサンドイッチを販売します。フィリングはパンチのある自家製のソーセージとミートソースで、観劇の際の腹ごしらえにちょうどいいボリュームです。

販売価格: ¥800(税込)

< 『スリー・キングダムス Three Kingdoms』 公演概要 >



【公演日程】2025 年 12 月 2 日(火)～14 日(日)

【会場】新国立劇場 中劇場

【作】サイモン・スティーヴンス 【翻訳】小田島創志

【演出】上村聡史

【出演】伊礼彼方、音月 桂、夏子／佐藤祐基、堅山隼太、坂本慶介、森川由樹、鈴木勝大、八頭司悠友、近藤 隼／伊達 暁、浅野雅博

【芸術監督】小川絵梨子 【主催】新国立劇場

【チケット料金】S席 8,800円／A席 6,600円／B席3,300円／Z席(当日)1,650円

【公式ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/play/threekingdoms/>

ものがたり

刑事のイグネシウスは、テムズ川に浮かんだ変死体の捜査を開始する。捜査を進めるうちに、被害者はいかがわしいビデオに出演していたロシア語圏出身の女性であることが判明する。さらに、その犯行が、イツ・ア・ビューティフル・デイの名曲「ホワイト・バード」と同名の組織によるものであることを突きとめる。イグネシウスは捜査のため、同僚のチャーリーとともに、ホワイト・バードが潜伏していると思われるドイツ、ハンブルクへと渡る。ハンブルクで、現地の刑事シュテッフェンの協力のもと捜査を始める二人だったが、イグネシウスがかつてドイツに留学していた頃の不幸事を調べ上げていたシュテッフェンにより、事態は思わぬ方向に進んでいくのであった。